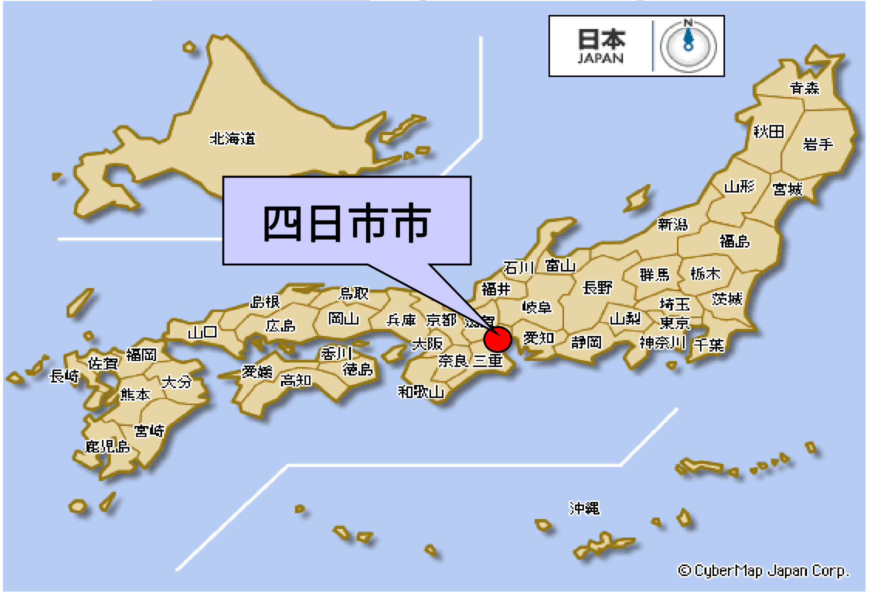
地域公共交通活性化セミナー 2015 in福岡

地域公共交通網形成計画について

三重県四日市市都市整備部
都市計画課公共交通推進室

四日市市の概要



- 人口　約31万2,688人（県下最大）
- 面積　205.58㎢
  （平成27年1月1日現在）
- 特例市（保健所政令市）

- 国際拠点港湾四日市港
  外貨コンテナ取扱貨物量
  193,531ＴＥＵ（全国10位：平成25年）
- 製造品出荷額
  約2兆6,849億円
  （全国11位：平成24年工業統計）

主な地場産業

ばんこの里会館

伊勢茶

四日市萬古焼

大矢知手延素麺

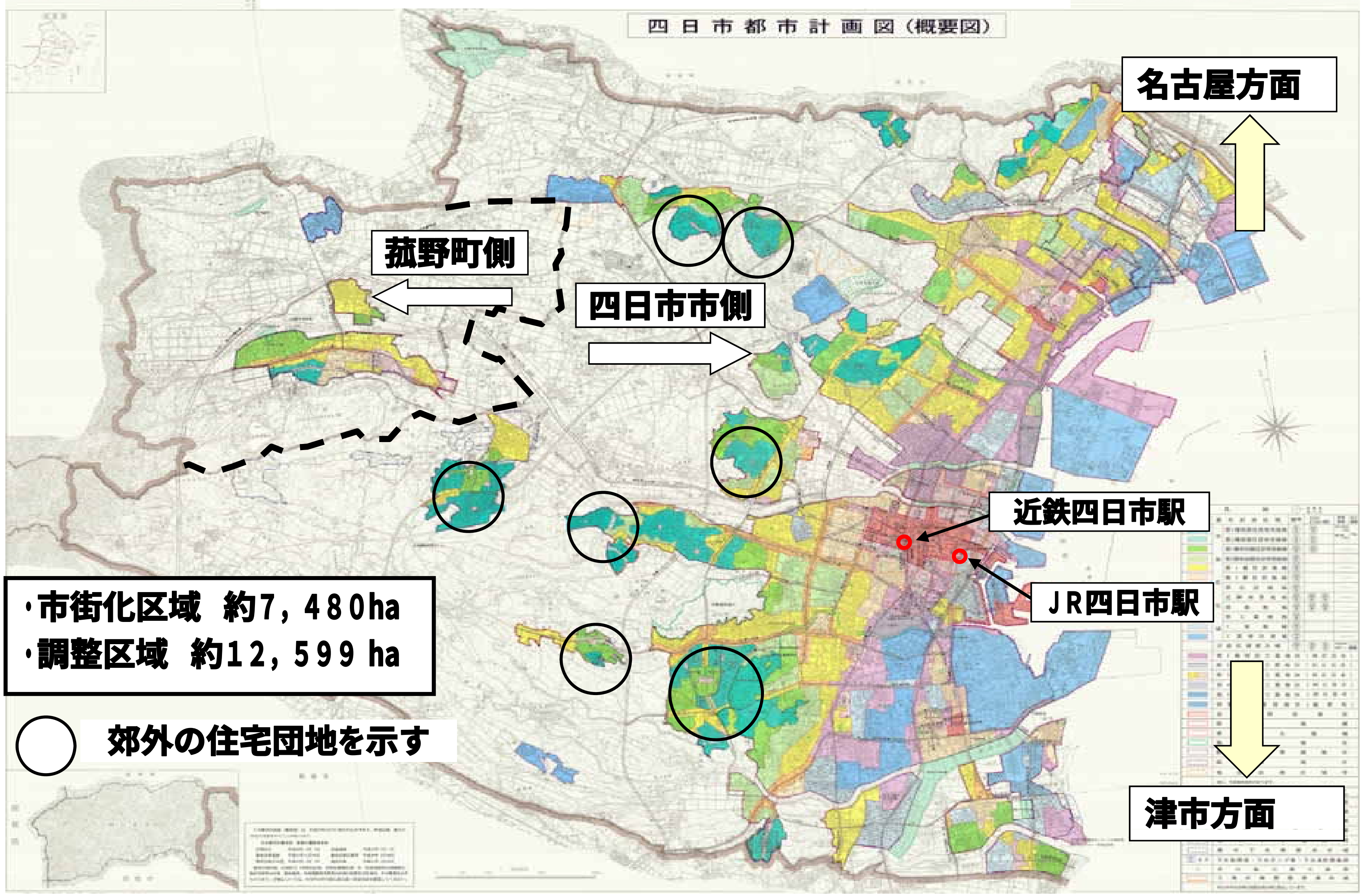
食用ごま油

四日市の地酒

B級グルメ
「四日市とんてき」

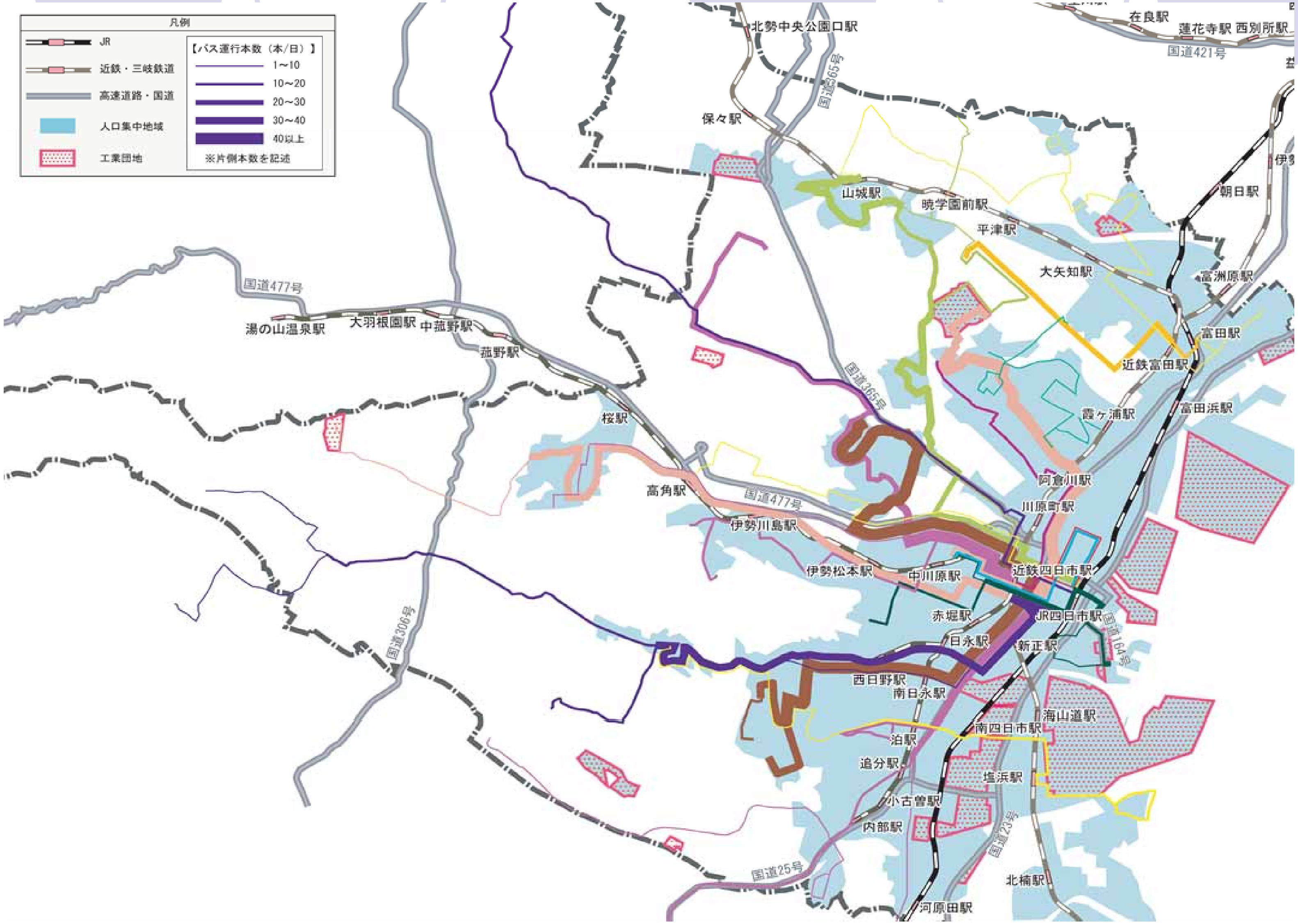
臨海部コンビナートの夜景

四日市都市計画図（概要図）



四日市市内の鉄道路線網図

四日市市内のバス路線網図（25路線）



【公共交通利用者数の状況】

- 鉄道やバスの利用者は近年下げ止まり傾向であるが、長期的には一貫して減少しており、交通事業者はたいへん厳しい経営状況が続いている。
- バスでは平成１０年代前半頃から路線バスの廃止等も生じ、廃止代替及び交通空白地域をカバーする目的で市が「自主運行バス」を３路線運行したり、また、同様の目的で、ＮＰＯ法人により「生活バス四日市」を運行。
- また、近年では鉄道において、近鉄の支線である内部・八王子線の存廃問題が発生。

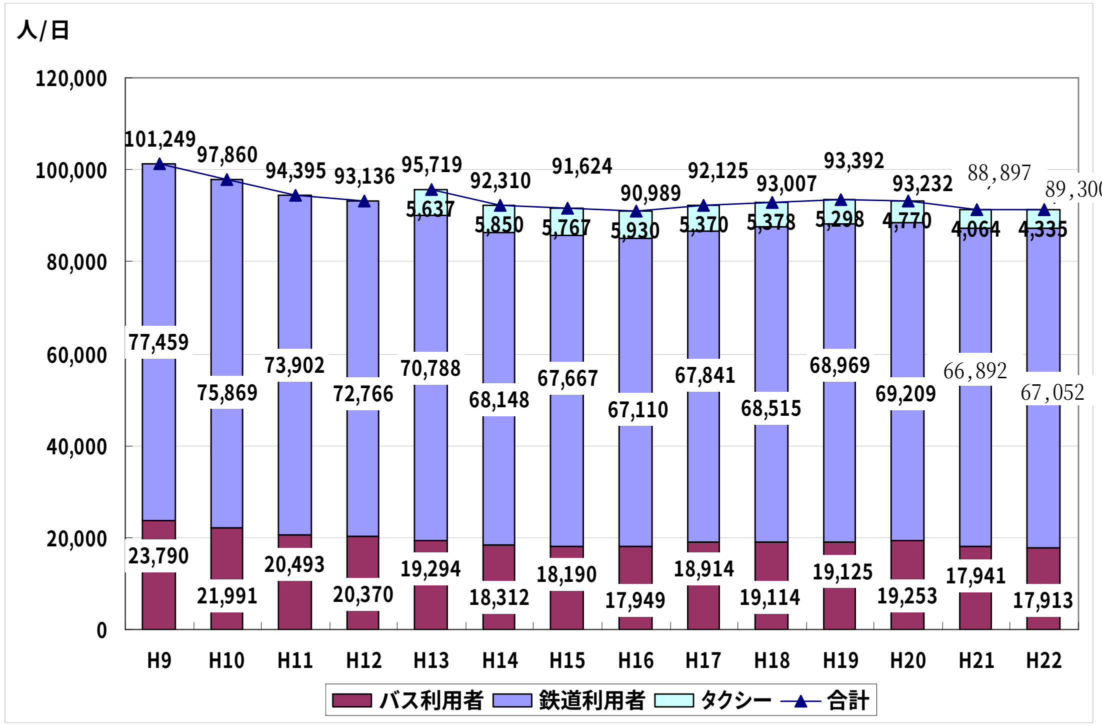


図　四日市市の公共交通利用者数の推移

平成９年と平成２２年の比較

鉄道利用者数（人／日）

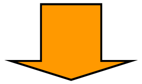
７７，４５９　→　６７，０５２

約１３％の減少

バス利用者（人／日）

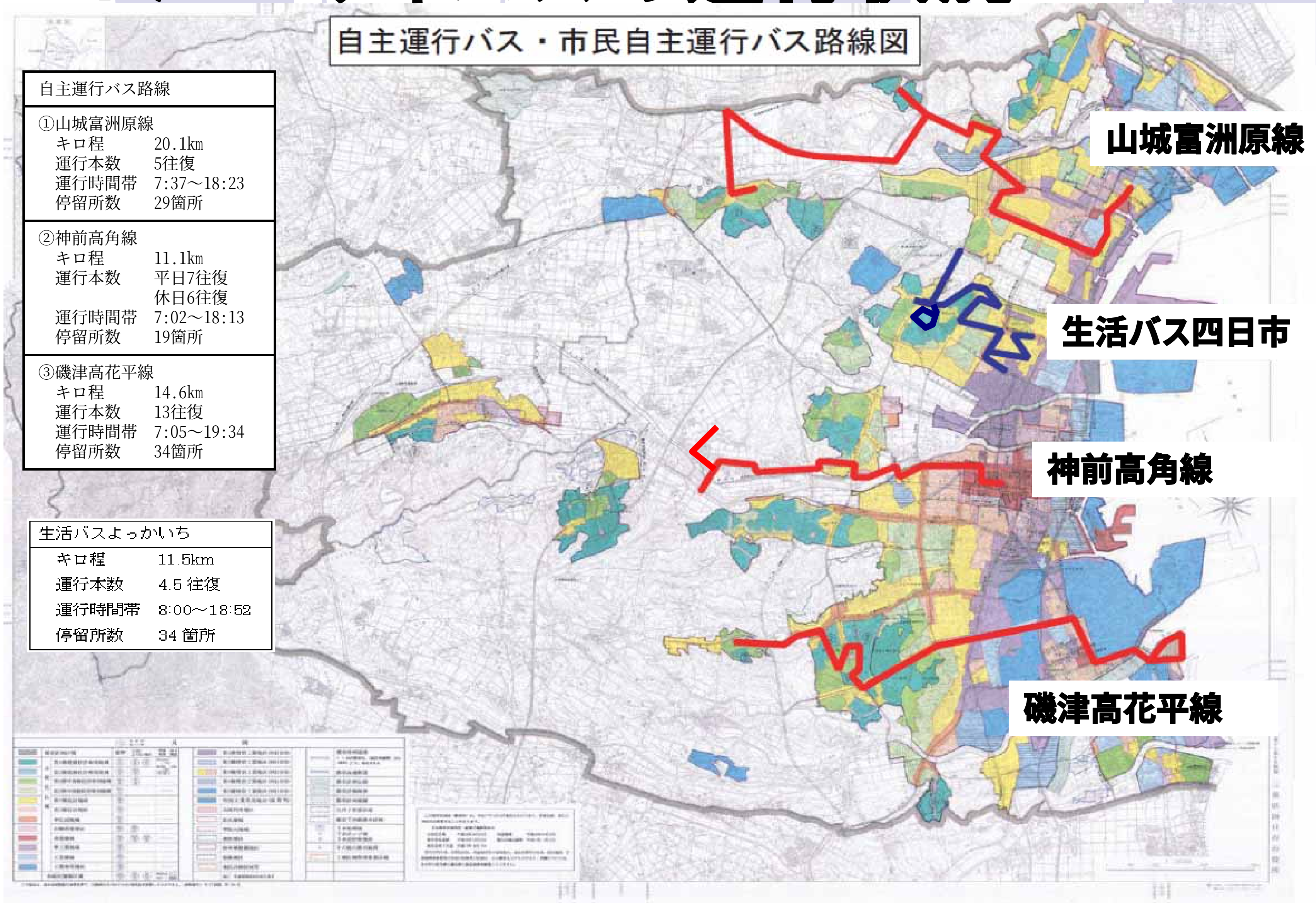
２３，７９０　→　１７，９１３

約２５％の減少



公共交通利用者が減少している状況

コミュニティバスの運行状況



自主運行バス路線	
①山城富洲原線	
キロ程	20.1km
運行本数	5往復
運行時間帯	7:37～18:23
停留所数	29箇所
②神前高角線	
キロ程	11.1km
運行本数	平日7往復 休日6往復
運行時間帯	7:02～18:13
停留所数	19箇所
③磯津高花平線	
キロ程	14.6km
運行本数	13往復
運行時間帯	7:05～19:34
停留所数	34箇所

生活バスよっかいち	
キロ程	11.5km
運行本数	4.5 往復
運行時間帯	8:00～18:52
停留所数	34 箇所

四日市市のコミュニティバスの現状（平成25年度実績）

路線名	山城富洲原線	神前高角線	磯津高花平線	生活バス よっかいち
運行主体	四日市市	四日市市	四日市市	NPO法人 生活バス四日市
委託先	三岐鉄道㈱	三重交通㈱	三重交通㈱	三重交通㈱
運行目的	廃止代替及び 交通空白地対策	廃止代替及び 交通空白地対策	廃止代替及び 交通空白地対策	廃止代替及び 交通空白地対策
運行開始	H12年5月	H12年4月	H14年4月	H15年4月
運行区間と距離	山城駅～下野地区～八郷地区～大矢知地区～富田地区～富田駅～天ヶ須賀2丁目　20.1km	高角駅～四日市中央工業～神前大日山～中尾平～イオン四日市尾平店～近鉄四日市西口　11.1km	磯津～塩浜駅～県立総合医療センター～笹川団地～高花平　14.6km	ｽｰﾊﾟｰｻﾝｼ～垂坂～大谷台～いかるが～別名～社会保険病院～大宮町～霞ヶ浦駅　11.5km
往復	5便	平日7便、休日6便	13便	4.5便
利用者数/年	23,054人	17,781人	29,117人	18,873人
運行経費（運賃収入）	16,425千円 (4,361千円)	15,566千円 (4,256千円)	27,111千円 (7,280千円)	10,683千円 (1,308千円)
その他収入	なし	なし	なし	市補助金3,600千円 地元協賛金5,640千円
収支率	26.5%	27.3%	26.9%	65.0%

近鉄内部・八王子線の概要について

区間　及び　営業延長

●内部線

近鉄四日市駅　～　内部駅

5.7**km**

●八王子線

日永駅　～　西日野駅

1.3**km**

延長　7.0**km**

近鉄内部・八王子線の概要について

- **駅　数　9駅**

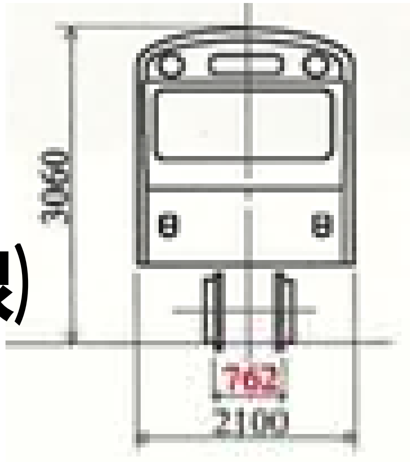
  無人駅　7駅(赤堀、日永、南日永、泊、追分、小古曽、西日野)

  有人駅　2駅(近鉄四日市、内部)

- **軌　道**

  762㎜ (**ナローゲージ**：**特殊狭軌線**)

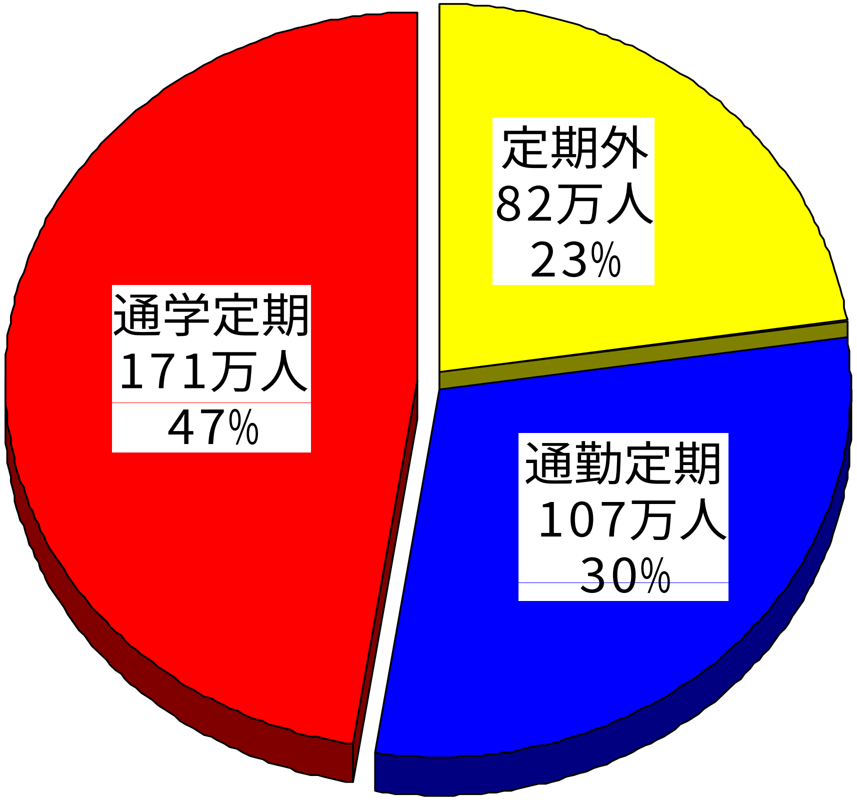
  全国で３箇所しか残っていない！



- **通学利用の多い学校が沿線に数多く立地**

  県立・私立を含め5つの学校

近鉄内部・八王子線の利用者数について

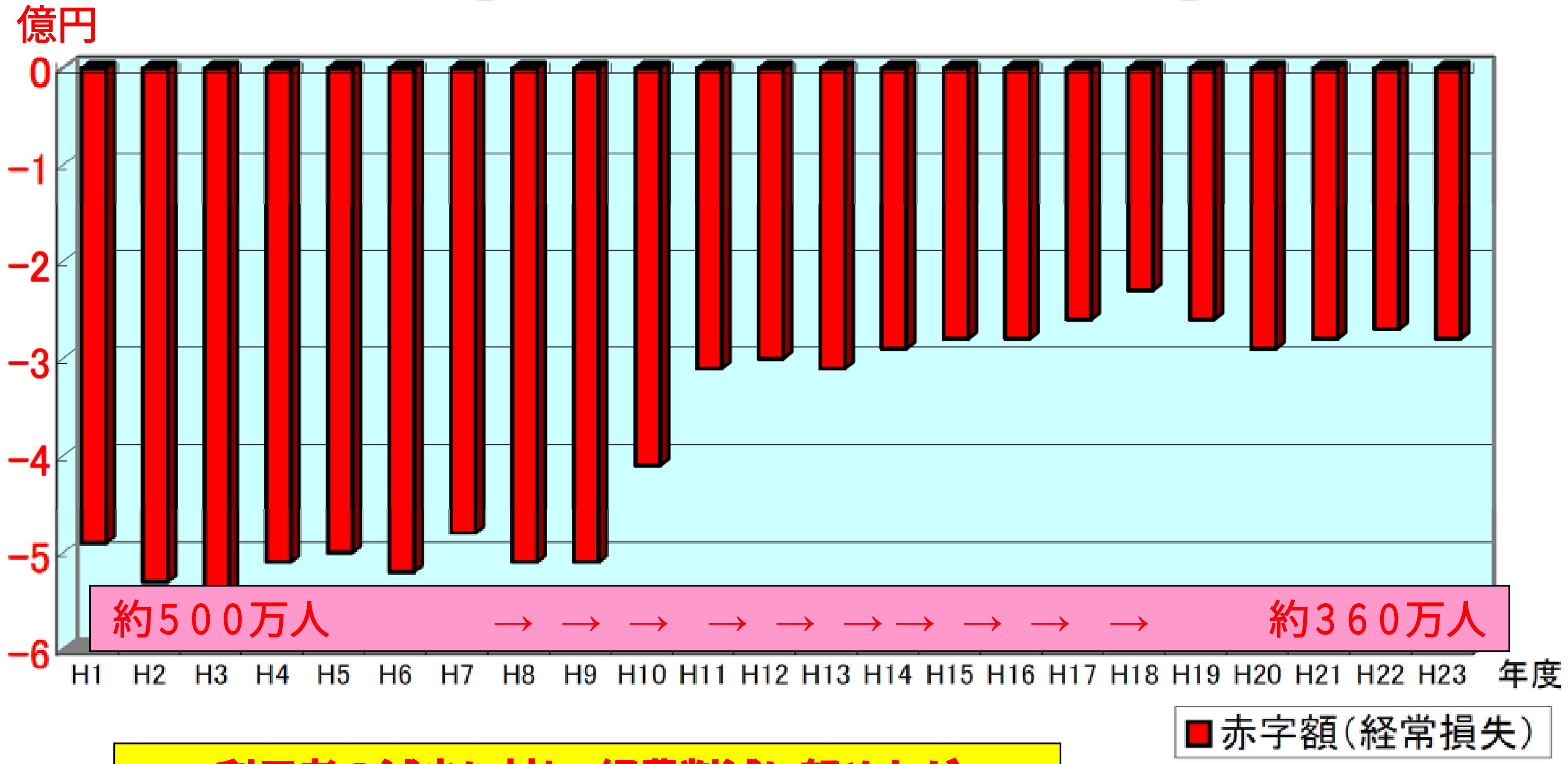


通学が約半数

年間約３６０万人に利用されているが、利用者の約半数が高校生などの通学定期利用者であり、大手民鉄である近鉄の学割率が高い（８０．７%引き）ことから、利用者数の割には収益が上がらない構造となっている。

近鉄㈱より提供を受けた平成24年度の情報

近鉄内部・八王子線の経営状況について



近鉄㈱からの情報提供による

利用者の減少に対し、経費削減に努めたが
年間３億円の赤字は継続的に発生

近鉄内部･八王子線の車両の状況について

- 車両の現状　**１４両保有**

　　昭和24年製車両：3両　昭和29年製：3両
　　昭和57年製車両：4両　昭和58年製：4両

※鉄道車両の減価償却は１３年。
　ただし、整備や手入れに多額の費用や時間を
　　かければ30年あるいはそれ以上の期間使用可能

とは言え60年以上が経過　→　更新時期が迫っている

存続に向けた協議経過の概要について

- **平成23年3月**
  - **近鉄からの支援要請に対し、総合計画の第1次推進計画（平成23～25年度）に支援策を位置付け。**

    ①車両更新補助

    ②西日野駅、内部駅の駅前広場整備

- **平成24年1月**
  - **近鉄から、**

    「一定の運営費補助がなければ鉄道という形態での事業継続が困難である。平成２５年夏頃を目途に基本的な方向性を打ち出したい。」

四日市市議会の動きについて

- 平成24年6月　　6月定例月議会において、「総合交通政策調査特別委員会」の設置が決まる。

↓

計19回にわたる特別委員会での議論

- 平成25年5月　　「公有民営方式を基本軸とした上で、市の負担をできる限り最小化するよう、近鉄と協議・交渉を進めることを要望する」という提言。

沿線自治会や学校関係者等の動きについて

平成24年8月

- 沿線の自治会や学校関係者、鈴鹿市の自治会による**近鉄大阪本社への存続を求める要望活動の実施**

平成24年10月～12月

- **沿線の自治会や学校関係者、商工会議所、鈴鹿市の自治会による「近鉄内部・八王子線存続を求める署名」の近鉄への提出。**

四日市市自治会連合会・北勢地区高等学校PTA連合会
四日市商工会議所
鈴鹿市自治会連合会・亀山市自治会連合会
四日市市老人クラブ
四日市市立病院・県立総合医療センター
四日市社会保険病院・総合心療センターひなが　など

署名総数　172,144人

内部・八王子線の必要性について

沿線住民の方々や学校関係者の方々による熱い思い、市議会の特別委員会からの提言はもとより・・・

○少子高齢化を迎え、特に交通弱者にとって日常生活に欠かせない移動手段

○「鉄道駅を中心としたまちづくり」を進める上で鉄道は必要不可欠

▶鉄道は1度線路を剥がすと元に戻すことが困難

○廃線となった場合、代替交通の困難性が生じる

▶路線バス転換により、並行する国道1号の渋滞を助長

○鉄道は地球環境にも優しい交通機関

などなど

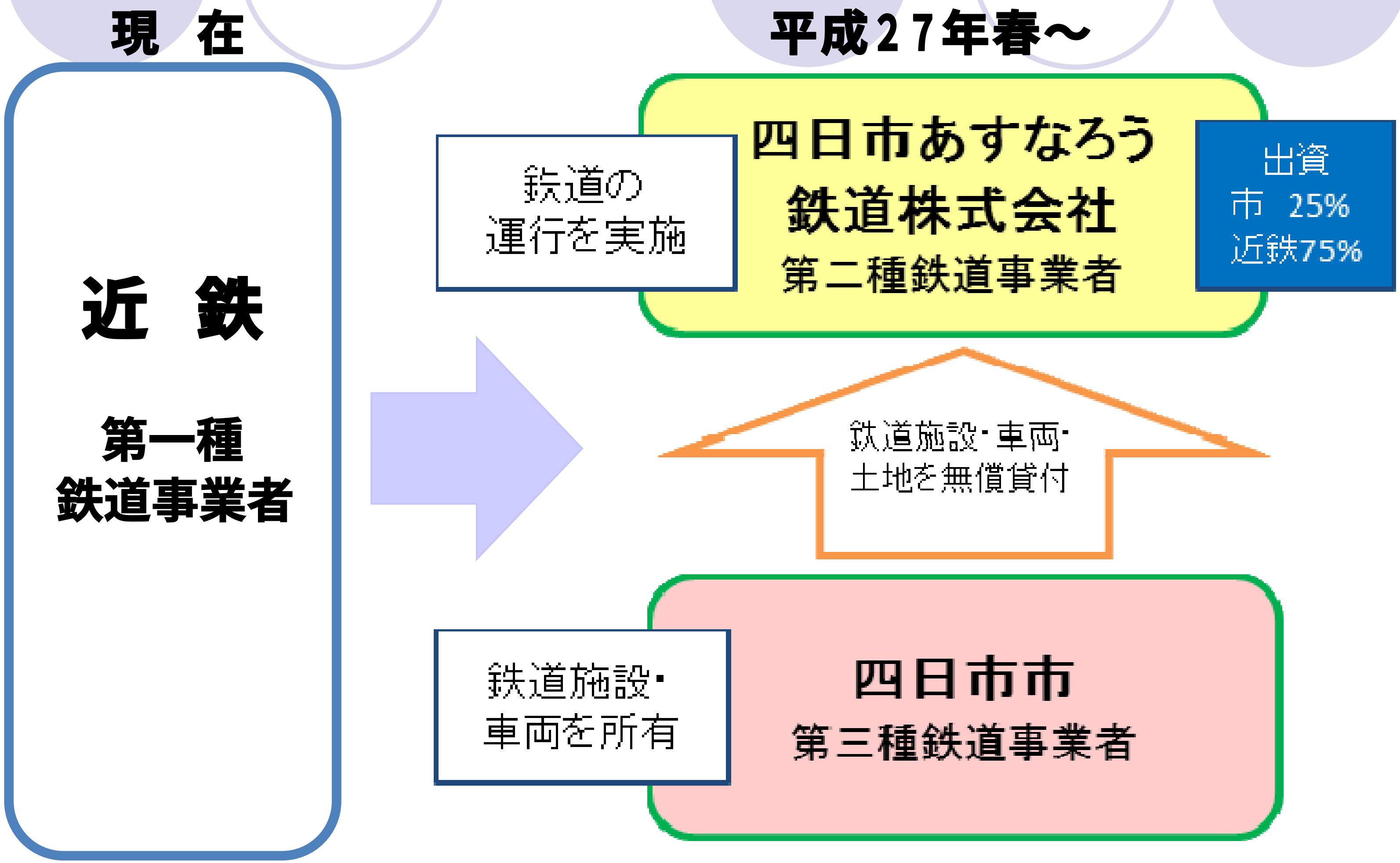
市の鉄道存続に対する判断と存続合意

地元や学校関係者の熱意、市議会特別委員会の提言、内部・八王子線の必要性をふまえ、鉄道での存続は公益性が高いものと判断。

近鉄としては、「鉄道での存続であれば公有民営方式への転換が条件」と。

市と近鉄が協力して、内部・八王子線を「公有民営方式」により鉄道として存続することで合意。

今回の公有民営方式のスキームについて



新会社の社名について

● 新会社の社名

四日市あすなろう鉄道株式会社

⬇

● 社名に込められた意味

・明日に向かって（未来への希望）

・ナローゲージ（線路幅７６２mm）

公有民営方式の転換に向けて

- **「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき「地域公共交通網形成計画」を作成し、国へ提出**

  → 平成26年7月に第1回法定協議会を立ち上げ、12月までに計4回の協議会を経て同年12月19日に国へ提出

- **「鉄道事業再構築実施計画」の国への申請及び大臣認定予定**

  ・鉄道事業者としての認定を受けるための計画

  ・四日市市が、施設・車両等を所有・管理する「第3種鉄道事業者」

  ・四日市あすなろう鉄道㈱が、実際に鉄道の運行を行う「第2種鉄道事業者」

  → 上記の形成計画を提出した後、同年12月26日に国へ認定申請
  平成27年3月？頃、国からの認定予定

法第6条に基づく協議会

○四日市市地域公共交通活性化協議会（計23委員、3オブ、3事務局員）

・会長　四日市市都市整備部理事【法第6－2－1】
・座長　学識経験者【法第6－2－3】（名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 松本 幸正教授）
・交通事業者【法第6－2－2】（三重交通㈱、三岐鉄道㈱、NPO法人生活バス四日市、近畿日本鉄道㈱、東海旅客鉄道㈱、伊勢鉄道㈱、四日市あすなろう鉄道㈱）
・利用者等【法第6－2－3】（自治会連合会代表者、商工会議所、地区まちづくり推進委員、沿線高校代表者）
・警察【法第6－2－3】（管内3署 交通課長）
・国【法第6－2－2及び3】（三重河川国道事務所、三重運輸支局）
・県【法第6－2－3及び2】（地域連携部交通政策課、四日市建設事務所）
・交通事業者団体【法第6－2－2】（（公社）三重県バス協会、（一社）三重県タクシー協会）
・交通事業者労組【法第6－2－2】（三重交通労働組合）
・オブザーバー（中部運輸局：企画観光部交通企画課長及び鉄道部計画課長、中部地方整備局：建政部都市整備課長）
・事務局（幹事：四日市市都市整備部道路管理課長、四日市市環境部環境保全課長、事務局長：四日市市都市整備部都市計画課長）

四日市市地域公共交通網形成計画の概要

背景

○四日市市においては,人口減少・少子高齢化の進展が見込まれる一方,人口密度が低い地域が広範囲に分布。
○モータリゼーションの進展、バス、鉄道の競争の激化などによって、通勤・通学に欠かせない地域にとって真に必要な公共交通を維持することが難しい状況に直面。四日市市総合計画や都市計画マスタープランで示されたまちづくりの方針を支える持続可能な公共交通網の形成が必要。

四日市市地域公共交通網形成計画

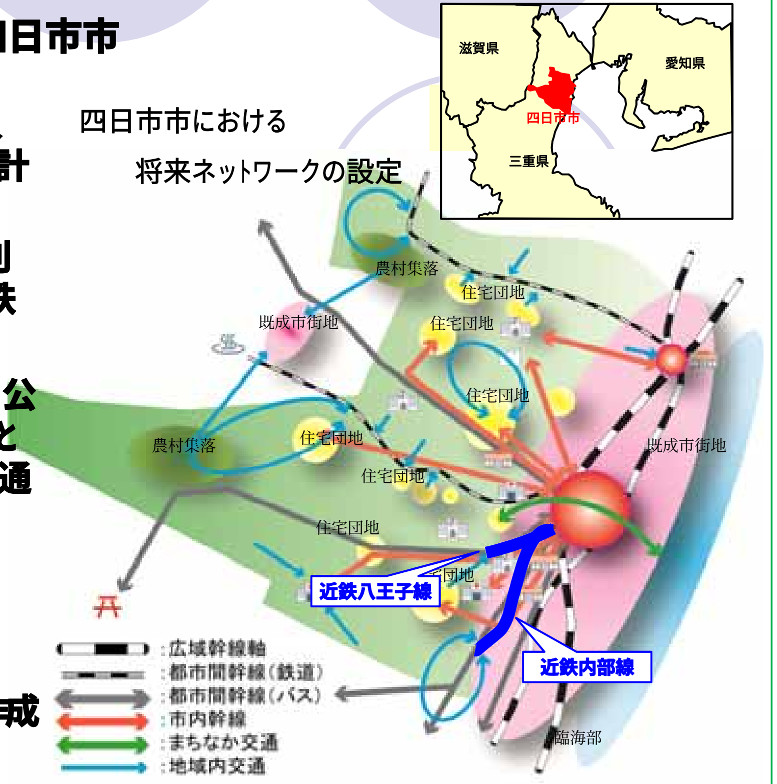
基本方針

○都市計画マスタープラン等で打ち出されている、コンパクトなまちづくり、団地・郊外部の維持、「環境先進都市」といった市の目指すまちづくりを支える公共交通の維持・活性化
○便利で安心して利用できる持続可能な地域公共交通網の構築
○日常生活の中で地域公共交通を利用したくなるサービスの提供と雰囲気づくり

【計画対象区域】 四日市市（都市計画区域外を除く全域）　【計画作成主体】 四日市市

【主な計画内容】

○ 地方公共団体、事業者、住民の協働によって鉄道事業を支える仕組みの導入（市内を走る鉄道である内部・八王子線（現在は近鉄が運行）について、本形成計画に「鉄道事業再構築事業」を位置付け、公有民営方式へ転換(※)）
○ 便利で安心して利用できる公共交通網構築のため、鉄道とバスとの乗継利便性の向上（駅前広場の整備による結節性向上、ダイヤ改訂によるバスと鉄道の接続改善、2WAY定期の導入等）
○ 中心市街地への公共交通での来訪促進のため、中心市街地を中心とする公共交通ネットワークを形成。各路線の役割を、都市間幹線、市内幹線（都心と団地・郊外部の連絡等）、まちなか交通、地域内交通に区分し、将来公共交通網の明確化に向けた検証を継続（運行路線・運行回数の適切性の検証 等）
○ 郊外部の住民の日常生活を守るための交通サービスの導入（コミュニティバスの導入 等）
○ 運転免許返納者に係る公共交通機関の割引の実施
○ 充実した地域公共交通についてわかりやすい情報提供を行うための統一マップの作成
○ 達成状況を評価する指標の設定



(※) 公有民営方式;鉄道において線路などの施設を沿線公共団体が保有し、運行を鉄道事業者が行う方式に転換し、効率的な経営を図る方式

四日市市地域公共交通網形成計画について

基本理念

育てよう！市民のくらしを守る公共交通

基本方針

○コンパクトなまちづくり、団地・郊外部の維持、「環境先進都市」といった市の目指すまちづくりを支える公共交通の維持・活性化

○便利で安心して利用できる持続可能な地域公共交通網の構築

※特に、存廃問題が顕在化した内部・八王子線については、その持続可能性を追求します。

※公共交通網の構築にあたっては、地域、交通事業者、行政それぞれが主体的に取組みます。

○日常生活の中で地域公共交通を利用したくなるサービスの提供と雰囲気づくり

地域公共交通網形成計画の目標
指標及び目標値の設定による目標達成状況の明確化

(1) 市の目指すまちづくりを支える公共交通の維持・活性化に向けて・・・

目標①：中心市街地への公共交通での来訪促進

指標	現況値 （平成２４年度）	中間目標値 （平成３１年度）	目標値 （平成３６年度）
四日市市中心市街地における公共交通での来訪者数 (平日1日)	30,434 人/日	30,500 人/日	31,000 人/日

目標②：郊外部の移動手段確保

(数字は累積)

指標	現況値 （平成２５年度）	中間目標値 （平成３１年度）	目標値 （平成３６年度）
郊外部での移動手段確保数	― 箇所	3 箇所	5 箇所

目標③：運輸部門の低炭素化の促進

指標	現況値 （平成２２年度）	中間目標値 （平成２７年度）	目標値 （平成３２年度）
運輸部門における四日市市域の二酸化炭素総排出量	57.3 万t-CO_2	― 万t-CO_2	39.7 万t-CO_2

地域公共交通網形成計画の目標
指標及び目標値の設定による目標達成状況の明確化

(2) 便利で安心して利用できる持続可能な地域公共交通網の構築に向けて・・・

目標④:乗り継ぎ利便性の向上

指標	現況値 (平成２５年度)	中間目標値 (平成３１年度)	目標値 (平成３６年度)
駅前広場整備駅の箇所数	— 箇所	3 箇所	6 箇所

目標⑤:並行路線の連携強化

指標	現況値 (平成２５年度)	中間目標値 (平成３１年度)	目標値 (平成３６年度)
内部・八王子線と四日市平田線、水沢(室山)線の合計利用者数	11,309 人/日	10,000 人/日	10,000 人/日

目標⑥:内部・八王子線の維持・活用

指標	現況値 (平成２５年度)	中間目標値 (平成３１年度)	目標値 (平成３６年度)
内部・八王子線における定期外利用者の「減少傾向の改善率」	— %	1.19 %	1.21 %
内部・八王子線におけるイベント等の参加者数	2,726 人	3,600 人	3,800 人

「減少傾向の改善率」とは、利用促進等を行わない場合の需要予測に対し、地域と行政、そして鉄道事業者がどれだけ努力したかを計る指標をいう。

※利用促進等の特殊要因による増／人口減少等を勘案した定期外利用者の需要推計

(例:H36年度)

9,007人／744,503人

＝1.21%

地域公共交通網形成計画の目標
指標及び目標値の設定による目標達成状況の明確化

(3) 日常生活の中で地域公共交通を利用したくなるサービスの提供と雰囲気づくりに向けて・・・

目標⑦：地域公共交通に対する市民満足度の向上

指標	現況値 （平成２５年度）	中間目標値 （平成３１年度）	目標値 （平成３６年度）
市内の地域公共交通に対する市民の不満足度（減少させる）	40.6 %	30 %	20 %

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の目標と具体的な施策及び実施主体)

(1) 市の目指すまちづくりを支える

公共交通の維持・活性化に向けて・・・

目標①：中心市街地への公共交通での来訪促進

～中心市街地アクセス交通の維持・活性化～

1)　中心市街地を中心とする将来公共交通網の明確化　(四日市市、交通事業者、地域住民)

2)　中心市街地のイベントとのタイアップ (四日市市、交通事業者)

目標②：郊外部の移動手段確保

～団地・郊外部の日常生活の移動手段確保の仕組みづくり～

3) 地域主体の交通づくりの支援制度設計　(四日市市、地域住民、交通事業者)

4) 地域の代表者向けノウハウ集の作成 (四日市市)

目標③：運輸部門の低炭素化の促進

～通勤・業務交通の変容促進～

5) 事業所等の自主的な自動車抑制の取組みへの支援と職場モビリティ・マネジメントの実施 (四日市市、商工会議所)

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の目標と具体的な施策及び実施主体)

(2) 便利で安心して利用できる持続可能な地域公共交通網の構築に向けて・・・

目標④:乗り継ぎ利便性の向上

~乗り継ぎ抵抗の軽減~

6) 駅前広場の整備 (四日市市、交通事業者)

7) 乗り継ぎ時間の短縮 (交通事業者、四日市市)

8) 鉄道駅のバリアフリー化 (鉄道事業者、国土交通省、三重県、四日市市)

9) バリアフリー化車両の導入推進 (三岐鉄道、三重交通)

目標⑤:並行路線の連携強化

~サービス面での連携~

10) 運賃面でのサービス向上 (交通事業者[四日市あすなろう鉄道と三重交通]、四日市市)

11) 企画切符の販売 (交通事業者)

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の目標と具体的な施策及び実施主体)

(2) 便利で安心して利用できる持続可能な
地域公共交通網の構築に向けて・・・

目標⑥:内部・八王子線の維持・活用

～持続可能な鉄道運営～

12) 鉄道事業再構築事業による公有民営方式への転換 [地域公共交通特定事業に該当]
(四日市市、四日市あすなろう鉄道)

～利用したくなる商品の企画・販売～

13) グッズの制作・販売 (四日市あすなろう鉄道、交通事業者)

14) イベントの実施[イベント列車、ウォーキング等] (四日市あすなろう鉄道、交通事業者、四日市市、地域住民)

11) (再掲) 企画切符の販売 (交通事業者)

～市民や地域の日常生活への浸透～

15) 花壇など駅舎周辺の維持管理 (四日市市、四日市市あすなろう鉄道、地域住民、学校関係者)

16) 駅舎や車両の飾り付けの実施 (四日市市、四日市市あすなろう鉄道、地域住民、学校関係者)

17) 車内での音声案内への参加 (四日市市、四日市市あすなろう鉄道、地域住民、学校関係者)

18) 遠足や社会見学などでの利用促進 (四日市市、四日市市あすなろう鉄道、学校関係者)

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の目標と具体的な施策及び実施主体)

(2) 便利で安心して利用できる持続可能な

地域公共交通網の構築に向けて・・・

目標⑥:内部・八王子線の維持・活用

~地域などとともに支える仕組みの構築~

19) 枕木オーナー制度の導入検討 (四日市市、四日市市あすなろう鉄道)

20) ネーミングライツの導入検討 (四日市市、四日市市あすなろう鉄道)

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の目標と具体的な施策及び実施主体)

(3) 日常生活の中で地域公共交通を利用したくなる
サービスの提供と雰囲気づくりに向けて・・・

目標⑦:地域公共交通に対する市民満足度の向上

~安全・安心・快適に利用できる地域公共交通の実現~

21) 免許返納のための環境整備と制度の拡充 (四日市市、交通事業者、警察)
22) PTPSの延長 (警察、道路管理者、バス事業者)
23) バスシェルターの整備推進 (三重交通、三岐鉄道、四日市市、道路管理者)
24) ICカードの導入検討 (交通事業者)
8) (再掲) 鉄道駅のバリアフリー化 (鉄道事業者、国土交通省、三重県、四日市市)
9) (再掲) バリアフリー化車両の導入推進 (三岐鉄道、三重交通)

~わかりやすい情報提供ツールの作成と周知~

25) マップの作成・配布 (四日市市、交通事業者、地域住民)
26) ポータルサイトの作成 (四日市市、交通事業者、商工会議所、地域住民)
27) 情報案内板の改善 (四日市市)

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の目標と具体的な施策及び実施主体)

(3) 日常生活の中で地域公共交通を利用したくなる サービスの提供と雰囲気づくりに向けて・・・

目標⑦：地域公共交通に対する市民満足度の向上

~利用したくなる商品の企画・販売~

2) (再掲) 中心市街地のイベントとのタイアップ (四日市市、交通事業者)

11) (再掲) 企画切符の販売 (交通事業者)

13) (再掲) グッズの制作・販売 (四日市あすなろう鉄道、交通事業者)

14) (再掲) イベントの実施[イベント列車、ウォーキング等] (四日市あすなろう鉄道、交通事業者、四日市市、地域住民)

~市民や地域の日常生活への浸透~

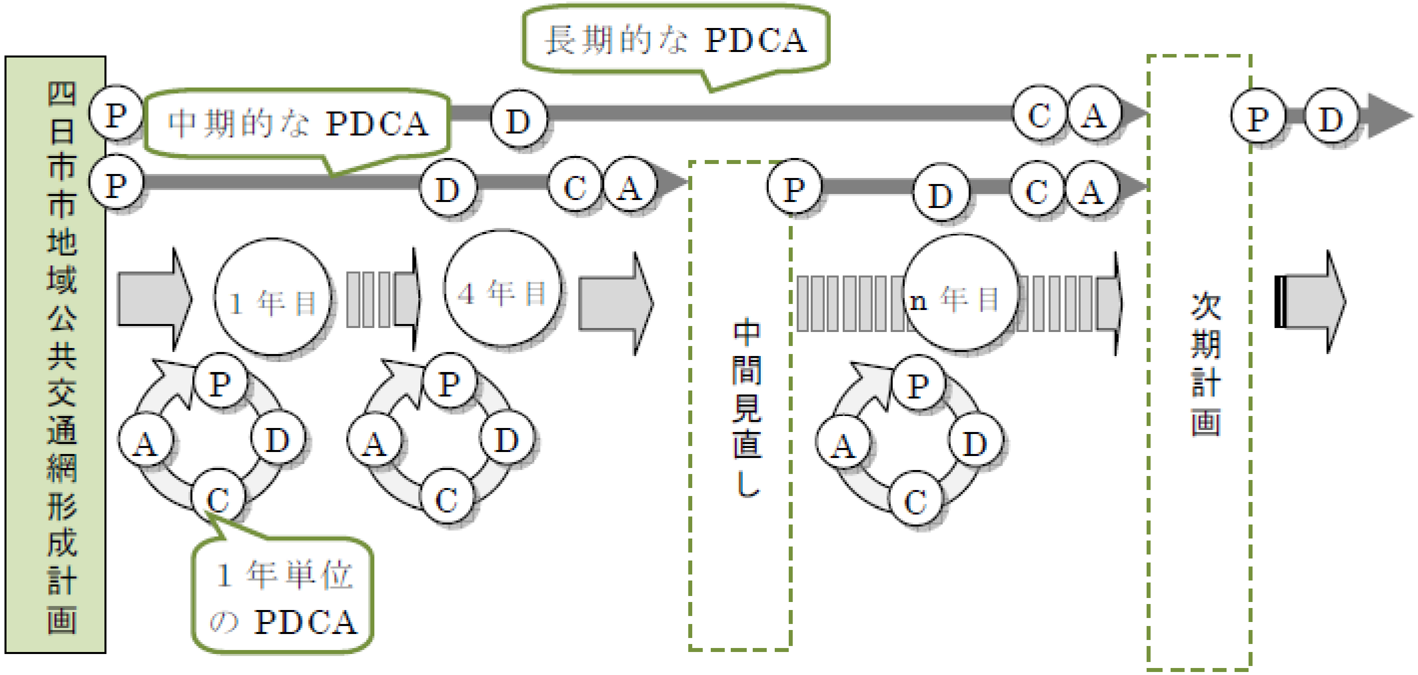
5) (再掲) 事業所等の自主的な自動車抑制の取組みへの支援と職場モビリティ・マネジメントの実施 (四日市市、商工会議所)

28) 転入者モビリティ・マネジメントの実施 (四日市市)

29) 鉄道・バスの乗り方教室の実施 (四日市市、三重交通バス協会、国土交通省、交通事業者)

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の達成状況の評価)

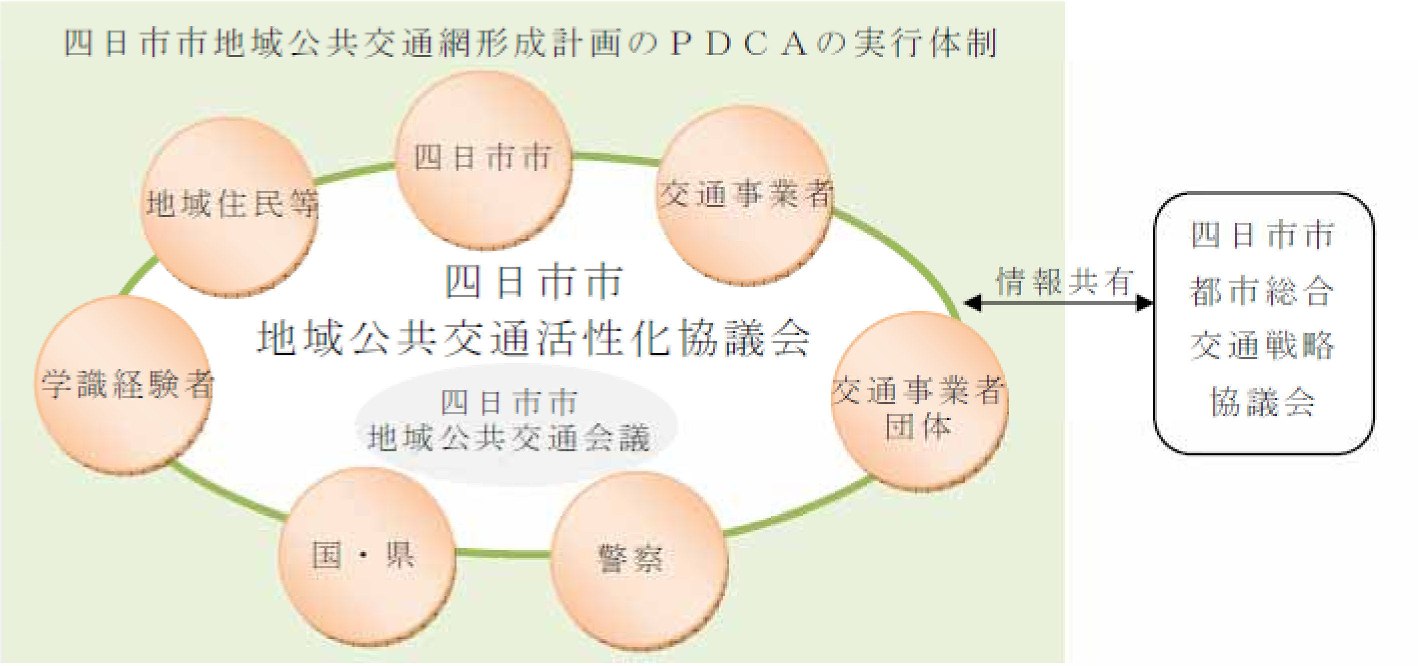
(1) ＰＤＣＡサイクルの実行



ＰＤＣＡサイクルの実行イメージ

四日市市地域公共交通網形成計画について
(計画の達成状況の評価)

(2) ＰＤＣＡサイクルの実行体制



計画の推進体制(案)

地域公共交通活性化再生法の概要

※地域公共交通活性化再生法の一部改正法（平成26年法律第41号）による改正後

地域公共交通活性化再生法の基本スキーム

基本方針 （国土交通大臣・総務大臣が策定）

- ■ 地域公共交通の活性化及び再生の意義・目標
- ■ 地域公共交通網形成計画の作成に関する基本的な事項
- ■ 地域公共交通の活性化及び再生に関する事業の評価に関する基本的な事項　等

地域公共交通網形成計画 （地方公共団体が策定）

協議会を開催し策定（地方公共団体・交通事業者・道路管理者・利用者・学識者等から構成）

- ■ 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
- ■ 区域・目標・計画期間
- ■ 実施事業・実施主体
- ■ 計画の達成状況の評価　等

地域公共交通特定事業

（地域公共交通網形成計画に事業実施を記載）

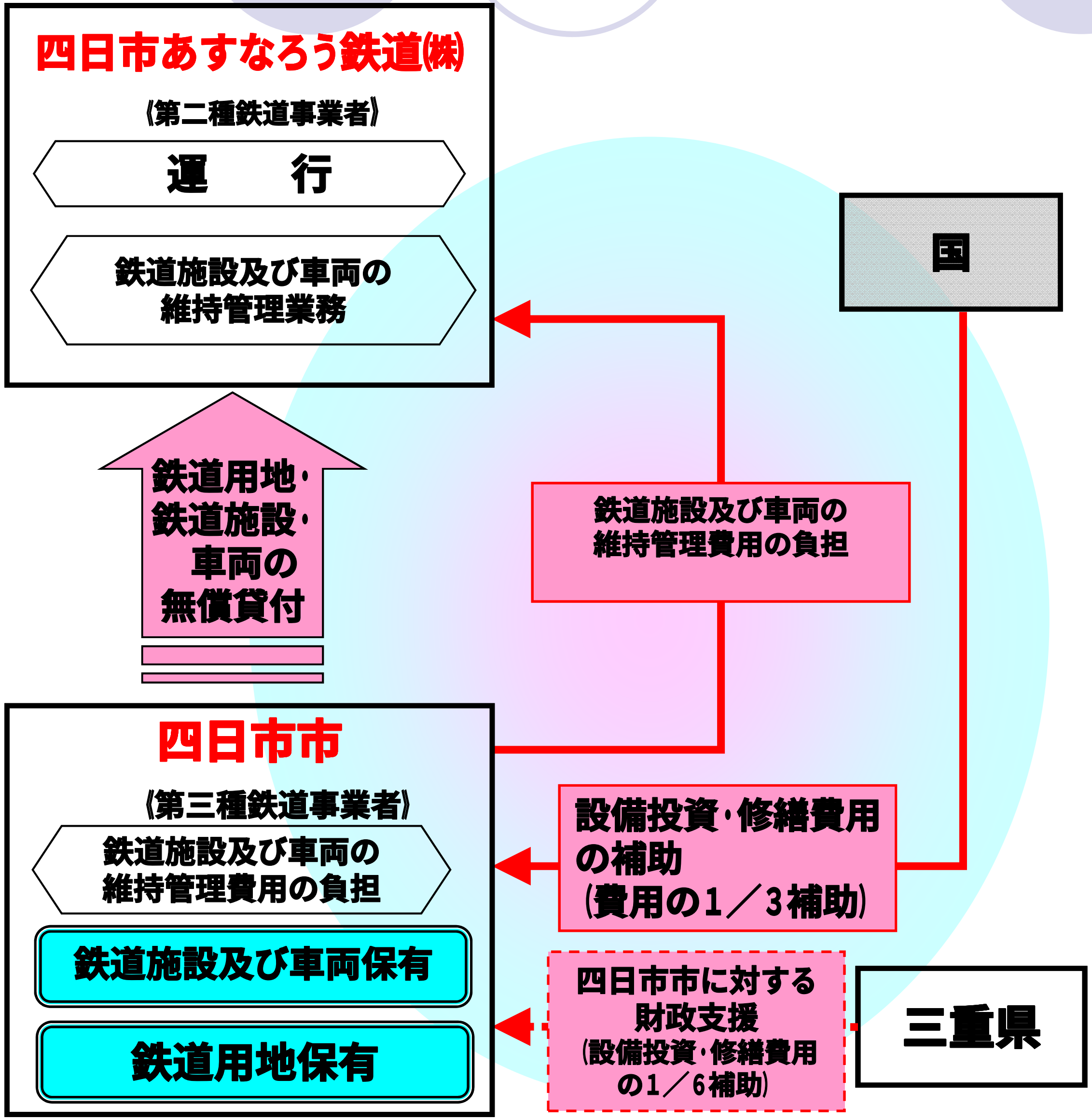
軌道運送高度化実施計画	道路運送高度化実施計画	海上運送高度化実施計画	鉄道事業再構築実施計画	地域公共交通再編実施計画	鉄道再生実施計画
（事業者）	（事業者）	（事業者）	（地方公共団体・事業者）	（地方公共団体）	（地方公共団体・事業者）
国土交通大臣が認定	国土交通大臣が認定	国土交通大臣が認定	国土交通大臣が認定	国土交通大臣が認定	国土交通大臣に届出
軌道運送高度化事業（LRTの整備）	道路運送高度化事業（BRTの整備）	海上運送高度化事業（海上運送サービス改善）	鉄道事業再構築事業（鉄道の上下分離等）	地域公共交通再編事業（公共交通ネットワークの再構築）	鉄道再生事業（廃止届出がなされた鉄道の維持）
（事業者）	（事業者）	（事業者）	（事業者）	（事業者）	（事業者）

今回活用を予定している特定事業：鉄道事業再構築実施計画／鉄道事業再構築事業

法律の特例措置等により計画の実現を後押し

内部・八王子線の鉄道事業再構築事業の申請概要

鉄道事業再構築事業実施スキーム
（計画期間：平成27年4月～37年3月）



具体的施策と効果

効　果

■計画期間中を通じて第二種鉄道事業者と第三種鉄道事業者が一体となった収支構造を構築し、利用促進策による増収施策と鉄道施設及び車両の計画的な整備を行うことにより、安全・安定した運行を維持。

具体的な施策

■安全で快適な輸送サービスの確保

◇鉄道施設の維持修繕の着実な実施
［10年間：394百万円］

◇鉄道施設の老朽更新等の着実な実施
［10年間：2，072百万円］

■一体となった収支構造の構築

◇四日市あすなろう鉄道に利益が発生すれば、四日市市の基金へ拠出

◇四日市あすなろう鉄道に損失が発生すれば、四日市市が基金等を活用し補填

■四日市市による利用促進・増収策の推進

◇駅前広場の整備による利用促進

・西日野駅、内部駅における駅前広場の整備による利便性向上

◇地域と連携した利用促進

・イベント列車の運行、遠足や社会見学における利用促進　等

■沿線地域と連携した利用促進活動の実施

・駅を発着とするハイキング等による観光客の誘致

・枕木オーナー制度の導入

・駅名のネーミングライツの実施

・関連グッズの企画・販売

■その他

◇高校生等による駅の美化活動の実施

◇鉄道の乗り方講習の実施（将来の利用者発掘）

【参考】

内部・八王子線利用促進協議会について

会議の目的：内部・八王子線の利用促進に向けて、自分たちで何ができるのかを議論して実行することを目的とする。

協議会委員：学識経験者を会長とし、沿線の自治会や学校関係者、商工会議所、観光協会、地域団体、鉄道事業者等で構成（約２０名）

会 議 開 催：第１回（平成26年7月25日）、第２回（平成26年9月30日）
第３回（平成27年3月開催予定）

アイデア例） 駅舎の補修（ペンキ塗り、清掃など）、線路や車庫の見学会の開催、一日乗車券の発行、車両を魅力あるデザインにする、駅名のネーミングライツ、マスコットキャラクター制作　などなど

四日市市都市計画課HP

http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu68979.html

四日市市地域公共交通網形成計画
四日市市HP

http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/secure/57967/keiseikouhou.pdf

ご清聴ありがとうございました。

四日市市　都市整備部　都市計画課
公共交通推進室　　秦　英博